

いつ始めて いいか分からない!

投資初心者のAさんは、将来の資産形成のため、投資について勉強することにしました。
Aさんは投資に対してこのようなイメージを持っていました。



では、そんなAさんのイメージについて、シミュレーション結果をもとに考えてみましょう。

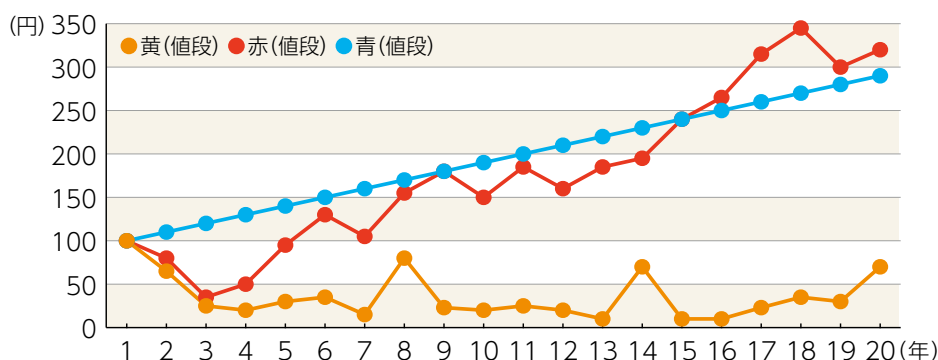
問題

「黄●」「赤●」「青●」のような値動きをする3つの投資商品があります。

積立投資 で購入した場合、

20年目に一番成績が良かったのはどの投資商品でしょうか?

値動きの推移(20年) それぞれの値動きは100円から始まり図の通りとなります。



積立投資

毎年1回10万円分

それぞれの商品を購入し、
それを20回続けた場合*

*20年目は購入後即売却したものとします。

*当資料は「積立投資のすべて(著:星野泰平氏)」「ドルコスト平均法協会資料」を参考に作成しております

答えは裏面に➡

答え

黄色 ●

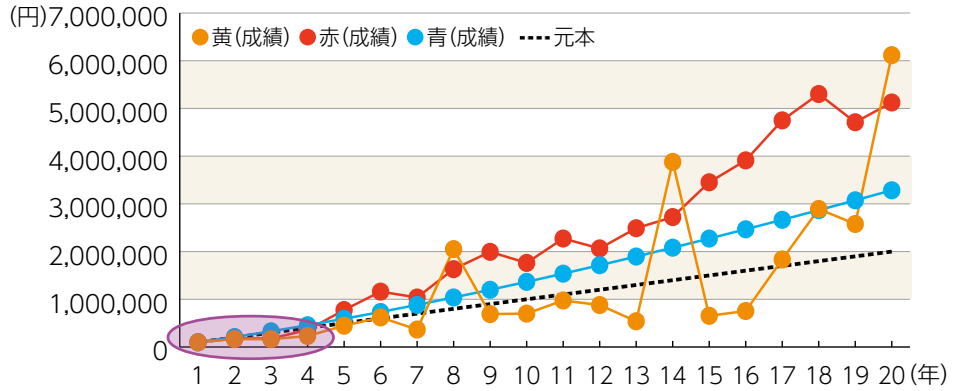
?

ところで、どの色の投資商品にしても、投資を始める時期はいつがよかったんだろう？



Aさん

積立投資の成績推移(20年)



「答え」と、Aさんの疑問について解説いたします。

投資の成績＝「購入量(合計)」×最終価格

青や赤と比べ量を多く積み上げてきた黄色は、価格が少し上がるだけでも投資成績に大きな影響があります。

最後の19年目から20年目に黄色の価格が上昇したこともあり、今回は一番成績が良い結果となりました。

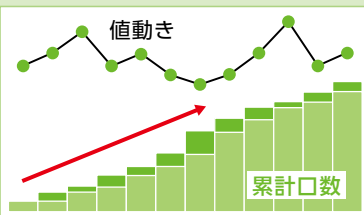
ここで、積立投資における投資先の購入時期について考えてみたいと思います。

上図の紫色エリアに注目していただきたいと思います。この間、投資先の値動きは大きく差がありますが、成績は価格が上がっている商品も下がっている商品も値動きほど大きな差が出ていません。

積立投資

購入量の合計が少ない初めのうちは、価格が上下しても投資の成績には大きく響かない

値動きと積立投資の累計口数の推移イメージ



例えば毎月1回20年間という積立投資では、12か月×20年＝240回もの投資タイミングがあります。仮に1、2回(1カ月、2カ月)タイミングをズラしても、240回あるうちの1%にも満たない影響しかありません。一括投資では投資のタイミングが重要ですが、

積立投資では投資後の値動きを気にして開始するタイミングをズラすよりも、早く始めて長く続けることで、購入量を積み上げていくことが重要と考えられます。

左図のイメージのようにどんな値動きであっても購入量(累計口数)は確実に積み上がっていくのです。

積立投資のポイント

- ① まとまったお金がなくても積立投資は少額から始めることができる
- ② 値下がりには怖くない⇒なぜなら量が多く買える＝投資の成績にプラス効果
- ③ 始める時期よりも「早く始めて長く続けることが大切」

*「ドルコスト平均法」は、万能ではありません。損失をこうむることもあります。

<取扱保険会社>

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

<取扱代理店>